

竹山地区

竹山地区別計画推進委員会

地域 竹山1~4丁目

区の南側に位置し、保土ヶ谷区に隣接している。

昭和40年代に開発された、集合住宅（竹山団地）が中心の丘陵地にある住宅地で、竹山中公園、竹山南公園等近隣公園や緑地などが整備されている。

コミュニティハウスや商店街など、活動や生活の拠点が整っている。

<主な関連施設>

最寄駅：鴨居駅（JR横浜線）

震災時避難場所（地域防災拠点）：竹山小学校

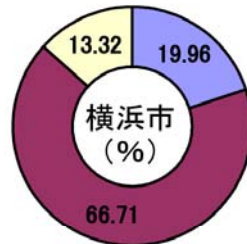
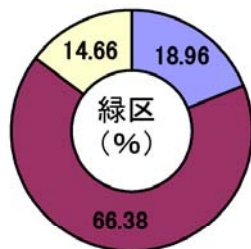
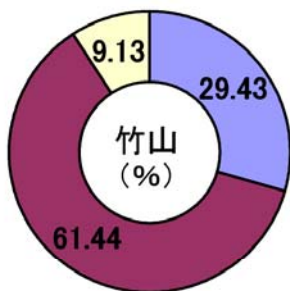
地域ケアプラザ等：横浜市鴨居地域ケアプラザ

<年齢区分別人口>

平成23年(2011年)9月末

人口比

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15~64歳) □年少人口比率(0~14歳)

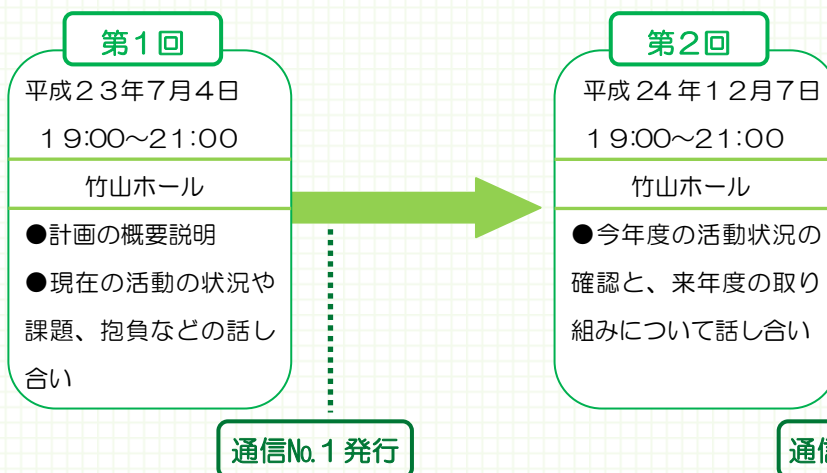


75歳~	790人
65~74歳	1,462人
15~64歳	4,702人
6~14歳	413人
0~5歳	286人
合計	7,653人

75歳~	14,370人
65~74歳	19,186人
15~64歳	117,467人
6~14歳	16,000人
0~5歳	9,942人
合計	176,965人

75歳~	336,653人
65~74歳	403,089人
15~64歳	2,472,006人
6~14歳	300,920人
0~5歳	192,789人
合計	3,705,457人

地区別計画推進委員会の開催状況





竹山地区

**安全に安心して暮らせる
「ふる里たけやま」を目指して!**



竹山地区では、幼児からお年寄りまで、安全に安心して豊かで楽しく暮らせる「ふる里たけやま」を目指して、目標に取り組んでいます。

ボランティアセンターは開所から2年が経過しました。これまでの利用実績は96件を超え、地域に着実に根付いてきています。

最近では、車椅子の方の階段の上げ降ろしや、話し相手ボランティアに、スタッフだけでなく、一般の方の力も借りて対応するなど、ボランティアの輪がさらに広がっていくような取り組みも行っています。



(写真：車椅子の方の「階段上げ降ろし」の様子)

保存版

竹山地区防災ブック個人用

災害からあなたを守るのは
人と人との絆です。

※ いざとゆうときに備え「ささえ愛データ」の登録・更新方法が掲載されています。

竹山小学校地域防災拠点運営委員会
竹山社会福祉協議会
竹山連合自治会
各単位自治会防災組織
平成24年4月

防災への取り組みでは、防災ささえあいカードの情報をデータベース化し、防災マップを個人情報を除いた形で作成しました。現在、そのデータベースを活用して要援護者の安否確認を行うことや、救援・救護を行う体制を整えています。

今後は、防災対策や救出・安否確認の体制・方法、水・食糧の確保等を記載した『防災ブック』を全戸に配付し、竹山地区の総合防災訓練で実践し、住民の安全対策を進めていきます。

(写真：今後配付する「竹山地区防災ブック」の表紙)

平成24年4月には「ふれあい交流サロン」がオープンします。
地域のつながりづくりを進めるため、高齢者や子育て世代の交流の拠点として活用していきましょう!



竹山地区別計画推進委員会



竹山地区別計画推進委員会
平成23年8月発行

竹山地区別計画推進委員会通信 No. 1

みどりのわ・ささえ愛プラン（緑区地域福祉保健計画）の竹山地区別計画の推進に向けて、平成23年7月4日（月）午後7時から竹山ホールで、「**第1回みどりのわ・ささえ愛プラン 竹山地区別計画推進委員会**」を開催し、現在の活動の状況や課題、抱負などの話し合いを行いました。
その内容をまとめましたので、皆さん是非ご覧ください！

■□■ みどりのわ・ささえ愛プラン 竹山地区別計画って？ □□■

「みどりのわ・ささえ愛プラン」とは、誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。

この中の「地区別計画」は、日々の暮らしの中で身近な地域で起きている課題の解決に向けて取り組む計画で、緑区では11 連合自治会ごとに定めています。

竹山では「竹山地区別計画」を検討するために、一昨年から「竹山地区別計画策定委員会」が中心となって話し合いを重ね、今年の3月に策定しました。



竹山地区別計画

目標1 ボランティア参加等の仕組みを整えます 《つながり》

【今、竹山では…】平成21年から始動している「竹山ボランティアセンター」をはじめ、活発に活動が行われています。

⇒ これらの活動をより多くの人に紹介し、ボランティア活動への新たな参加を呼びかけていきます。

目標2 知りたい情報を知らせる工夫に取り組めます 《情報》

【今、竹山では…】「竹山広報」や自治会ごとの広報誌、40周年記念誌の発行など様々な情報提供を行っています。

⇒ さらにわかりやすく、情報を必要とする方に届ける工夫に取り組めます。

目標3 世代間・活動団体間の交流を進めます 《つながり》

【今、竹山では…】様々な行事が行われる一方で参加者が固定化する傾向が見られる中、若い世代も少しずつ増えてきています。

⇒ 身近なところからの交流や、親子が参加しやすい企画を考えるなど、若い世代の参加を促します。

■□■ 竹山地区別計画推進委員会って？ □■□

委員会のメンバーは、連合自治会や自治会、地区社会福祉協議会の役員、民生委員・児童委員、保健活動推進員の方々26人から構成されています。委員会では、「みどりのわ・ささえ愛プラン 竹山地区別計画」（平成23年度～平成27年度）の推進に向け、取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討、進捗状況の把握、意見交換等を行っていきます。



《 第1回推進委員会の様子 》

■□■ 第1回竹山地区別計画推進委員会では… □■□

◆◆現在の取組状況や課題について発言していただき、意見交換を行いました。

目標1 ボランティア参加等の仕組みを整えるには…

- ・ボランティアセンターは地域に定着しているが、もっと住民に発信することが重要
- ・担い手が高齢化しており、若返りをどのように図っていくか

目標2 知りたい情報を知らせる工夫に取り組むには…

- ・東日本大震災発生に伴う震災対策を防災マップとして作成し、各地区別に全戸配布する。
- ・昨年度実施した「ささえ愛データ」に基づく、防災マップを作成し、町の防災組織・竹山小学校地域防災拠点活動計画とリンクさせ、「安全・安心」対策に取り組む。
- ・分かっているようで分かりづらい介護保険制度の研修会を開催し、理解することが必要

目標3 世代間・活動団体間の交流を進めるには…

- ・運動会や盆踊りなどの行事をたくさんの若者がきてくれる内容にするなど工夫している。
- ・自治会活動では、美化活動に子どもも参加してもらったり、住民の参加を強くお願いするなどをしている。5年先、10年先、20年先を見据えて、地道に続けていくことが重要。

◆◆話し合いの結果、今年度は、次の取り組みを行うことを確認しました。

- これまでやってきた取り組みを、今後とも地道に継続し、拡充していく。
- 作成した防災マップを実際に自治会で活用できるよう、防災訓練などを通じて検証する。
- ボランティアセンターの活動を引き続きPRし、コーディネーター研修会にも参加する。
- 世代間交流は、各自治会などが行っている様々な行事に、若い世代を誘っていく。
- 介護保険制度の勉強会を開催するなど、情報提供・情報発信につとめていく。

■□■ 第2回竹山地区別計画推進委員会の予定 □■□

12月頃に委員会を開催し、今年度の取組状況を報告し振り返りを行う予定です。

■□■ 安楽城委員長より □■□

「ふる里たけやま」をモットーに、竹山地区をさらに住みよい素敵な街となるよう、皆さんと力をあわせて取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いします！

<連絡先>

竹山地区別計画推進委員会
事務局 TEL：930-2336
(緑区 保険年金課内)



竹山地区別計画推進委員会
平成24年1月発行

竹山地区別計画推進委員会通信 No.2

みどりのわ・ささえ愛プラン（緑区地域福祉保健計画）の竹山地区別計画の推進に向け、「**第2回みどりのわ・ささえ愛プラン 竹山地区別計画推進委員会**」を平成23年12月7日（水）午後7時から竹山ホールで開催し、今年度の活動状況の確認と、来年度の取り組みについて話し合いました。

■□■ みどりのわ・ささえ愛プラン 竹山地区別計画について □■□

「みどりのわ・ささえ愛プラン」とは、誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。

この中の「地区別計画」は、身近な地域や日々の暮らしの中で起きている課題の解決に向けて取り組む計画で、緑区では11 連合自治会ごとに定めています。

竹山では、平成21年度から「竹山地区別計画策定委員会」を開催して話し合いを重ね、昨年3月に、「竹山地区別計画」を策定しました。



竹山地区別計画

目標1 ボランティア参加等の仕組みを整えます 《つながり》

【今、竹山では…】平成21年から始動している「竹山ボランティアセンター」をはじめ、活発に活動が行われています。

⇒ これらの活動をより多くの人に紹介し、ボランティア活動への新たな参加を呼びかけていきます。

目標2 知りたい情報を知らせる工夫に取り組みます 《情報》

【今、竹山では…】「竹山広報」や自治会ごとの広報誌、40周年記念誌の発行など様々な情報提供を行っています。

⇒ さらにわかりやすく、情報を必要とする方に届ける工夫に取り組みます。

目標3 世代間・活動団体間の交流を進めます 《つながり》

【今、竹山では…】様々な行事が行われる一方で参加者が固定化する傾向が見られる中、若い世代も少しずつ増えてきています。

⇒ 身近なところからの交流や、親子が参加しやすい企画を考えるなど、若い世代の参加を促します。

■□■ 竹山地区別計画推進委員会について □■□

委員会のメンバーは、連合自治会や自治会、地区社会福祉協議会の役員、民生委員・児童委員、保健活動推進員の方々27人です。

委員会では、「みどりのわ・ささえ愛プラン竹山地区別計画」（平成23年度～平成27年度）の推進に向け、目標達成のための具体的な取り組み内容の検討や取組状況の報告、進捗状況の把握、意見交換等を行っています。



《 第2回推進委員会の様子 》

■□■ 第2回竹山地区別計画推進委員会では… □■□

現在取り組んでいることや、今後取り組みたいことなどの主な意見は次のとおりです。

目標1 ボランティア参加等の仕組みを整えます…

- ・開設から2年が経過したボランティアセンターの実績は96件で、車椅子の介助や施設・業者等の紹介が多く、地域に定着しつつあります。
- ・車椅子の介助では、スタッフだけでなく、一般の方の協力を得て対応しています。

(今後に向けて)

- ・話し相手ボランティアなどにも、一般の方の協力得る方向でやっていきます。
- ・単独では解決できない相談対応のため、ケアプラザとの関係を密にしていきます。
- ・広報活動（ステッカー掲示、地区社協だより等）は引き続き行います。
- ・電動車椅子の購入については、検討課題とします。

目標2 知りたい情報を知らせる工夫に取り組みます…

- ・「ささえ愛データ」（防災ささえあいカードをデータ化したもの）に基づく防災マップを、個人情報を除く形で作成しました。

(今後に向けて)

- ・防災組織と地域防災拠点運営委員会とが連携活動を行うための「ささえ愛データ」の運用体制を整え、要援護者の救護・安否確認を行う活動班を具体化します。
- ・「防災ブック」（防災対策、救出・安否確認、水・食糧、「ささえ愛データ」登録・更新用紙、被災状況報告用紙他）を全戸配布します。
- ・今後の防災訓練では、「防災マップ」を活用した実践訓練を行います。
- ・介護保険制度の説明会は、各丁目毎に運営委員会開催時に時間を設け実施します。

目標3 世代間・活動団体間の交流を進めます…

- ・運動会や盆踊りなどは子ども中心の内容とし、多くの方が参加しやすいようにしています。
- ・世代間交流は地道に続けていくことが重要！どんどん進めていきます。
- ・現在「ふれあい交流サロン（仮称）」の整備を、地区社協・連合を中心に進めています。

(今後に向けて)

- ・引き続き、各地区が行っている様々な行事に若い世代を誘っていき、交流を図っていきます。
- ・「ふれあい交流サロン」により、地域のつながりづくりを進めていきます。

■□■ 来年度の予定 □■□

5～6月頃に委員会を開催し、24年度の取り組みについて、意見交換を行う予定です。

<連絡先>

竹山地区別計画推進委員会
事務局 緑区保険年金課内
TEL：930-2336